

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ・申込み】 U&I ときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと (第7回) 中山元喜さん

今回は、3月まで辻又地区で地域おこし協力隊員を務め、4月から大沢地区の里山十帖で働く中山元喜さんを紹介します。

Q. 移住するまでの経歴を簡単に教えてください。

A. 出身は東京都で、2年間教員をした後、新潟県妙高市で野外教育の専門学校に3年間通いました。その後、地域おこし協力隊として南魚沼市に来て3年となり、住むことにしました。

Q. 移住を決めたきっかけは？

A. 小さいころから雪に憧れていて、豪雪地帯で仕事をしたかったからです。

Q. 現在は里山十帖でどのような仕事をしていますか？



A. マウンテンバイクやスノーシュー体験、裏山おさんぼツアーなど、お客さま向けのアクティビティを担当しています。県外からのお客さまに南魚沼の魅力を伝える時には、地域おこし協力隊の時に地元の人から聞いた地域の昔ながらの話がすごく役に立っています。

Q. 中山さんが大切にしていることはなんですか。

A. いろいろな縁を大切にしたいです。辻又のみなさんにお世話になったことや、さまざまに繋がった縁のおかげで新しいことができたり、成長できると日々感じています。



Q. 今後の夢を教えてください。

A. みなさんから教えていただいた辻又をはじめとする南魚沼の魅力を、市外からのお客さまにアピールし、ファンを増やしたいです。また、「南魚沼の自然はすごい！」と身近な自然の魅力を感じられるような、地元の子どものためのアウトドア体験を提供したいです。

Q. これから南魚沼市で暮らそうと考えている人に一言。

A. 雪が大変というイメージがあるかもしれませんが、住んでみてよい面と悪い面の両方を知ること、そのもの自体の魅力が見えてきます。まずは飛び込んでほしいです。

ふるさと納税寄付金

ふるさと納税（返礼品制度）では、全国のみなさんから、平成29年6月1日～平成30年3月31日に8億4,500万円を超える寄付額をいただきました。「おいしいお米を楽しみにしています」「応援しています！」などのメッセージもたくさんいただいています。この寄付金は、南魚沼市がめざす将来像『自然・人・産業の和で築く安心のまち』の実現のための8つのコースに使わせていただきます。

若者にU・Iターンに対する意識アンケートを実施しました

4月27日(金)の2019南魚沼就職ガイダンスに出展しました。林市長のメッセージ動画にて、ブースを訪れた若者に対し「故郷の南魚沼に帰ってきてほしい」という熱い思いを伝えました。

当日行ったアンケートでは、「地元へ貢献したいから」「地元の環境が好きだから」U・Iターンしたいという前向きな声を聴くことができました。

一方で、「企業情報が少ない」「企業の雇用条件が不安」という声もありましたので、今後しっかりと情報提供をしていきます。

